

令和8年度ホタテガイ採苗情報（第2報）

令和8年4月17日

発行：岩手県水産技術センター

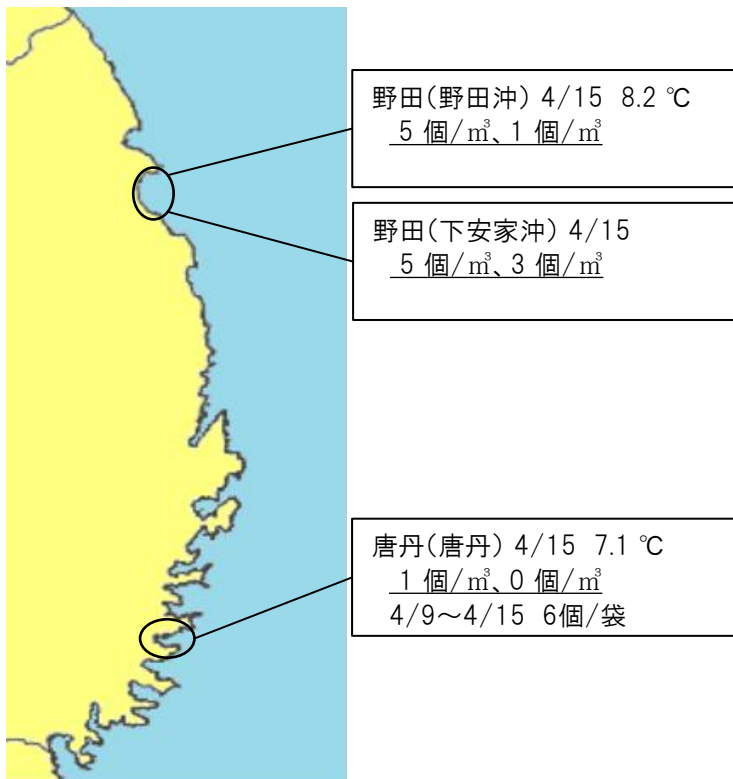
協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



前回（4/9）よりもラーバ出現数は減少したものの、
付着稚貝が少数出現していました。

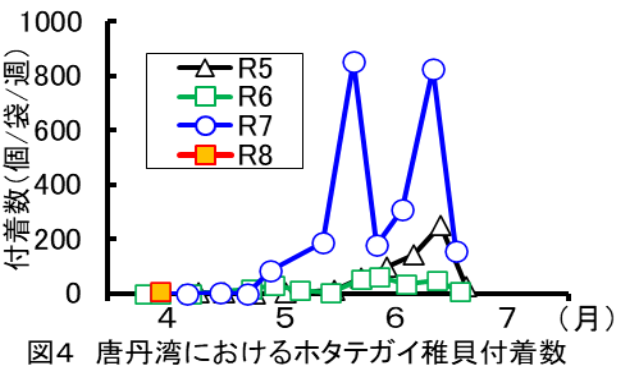
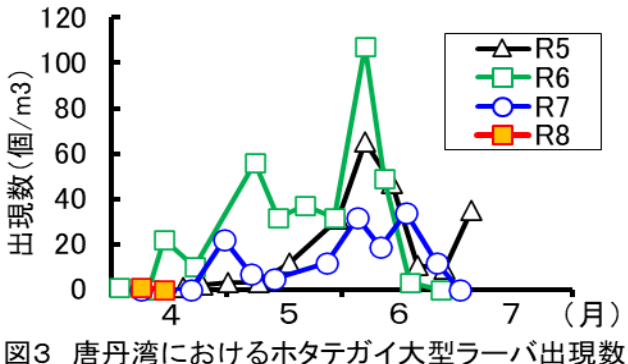
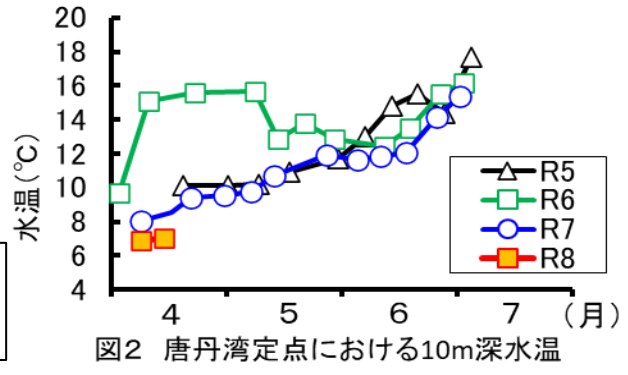
< 調査結果の概要 >

- 4/15の唐丹湾の10m深水温は7.1℃、透明度は13mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイの殻長200μm未満の小型ラーバが1個/m³（昨年同時期：18個/m³）、200μm以上の大型のラーバは見られませんでした（昨年同時期：0個/m³）出現しました。
- ムラサキイガイのラーバは16個/m³、キヌマトイガイのラーバは10個/m³、エゾイシカゲガイのラーバは見られませんでした。
- 4/9～15まで設置した採苗器から6個のホタテガイ付着稚貝が確認できました。
- 陸奥湾では、ラーバ出現数が極端に少なくなっていますが、大型ラーバ及び付着稚貝の出現が確認されています（4/9発行の青森県産業技術センター「ホタテガイ採苗速報第2号」より）



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果（国土地理院地図を利用）



次報は、4月23日頃に発行する予定です。